感染状況・医療提供体制の分析（令和4年6月15日時点）

【公表日 令和4年6月16日】

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	前回の数値 (6月8日公表時点)	現在の数値 (6月15日公表時点)	前回との比較	これまでの最大値	項目ごとの分析		
感染状況	①新規陽性者数※1 (うち65歳以上)	1,784.0人 (132.7人)	1,542.0人 (99.1人)		18,012.3人 (2022/2/8)	総括コメント	感染状況は改善傾向にあるが、注意が必要である	
	潜在・市中感染	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※2 における発熱等相談件数	64.0件	54.6件		209.7件 (2021/8/16)	新規陽性者数の7日間平均は、継続して減少しており、感染状況は改善傾向にあるが、新規陽性者数が比較的高い水準のまま増加に転じることに、引き続き注意が必要である。	
	③新規陽性者における接触歴等不明者※1	数 1,090.7人	945.4人		11,651.7人 (2022/2/8)			
	増加比※3	76.5%	86.7%		1,101.5% (2022/1/9)			
医療提供体制	検査体制	④検査の陽性率（PCR・抗原） (検査人数)	10.9% (9,908人)	10.4% (9,504人)		41.2% (2022/2/12)	総括コメント	通常の医療との両立が可能な状況である
	受入体制	⑤救急医療の東京ルール※4の適用件数	72.1件	68.9件		264.1件 (2022/2/19)	入院患者数は、3週間連続して減少した。引き続き感染状況やウイルスの特性に応じた医療提供体制を確保するための検討を進める必要がある。	
		⑥入院患者数 (病床数)	819人 (4,866床)	575人 (4,831床)		4,351人 (2021/9/4)		
		⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者 (病床数)	3人 (271床)	1人 (267床)		297人 (2021/8/28)		

※1 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

※2 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※3 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※4 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

【参考】VRSデータによる
都民年代別ワクチン接種状況
(令和4年6月14日現在)

都内全人口

1回目80.3% 2回目79.7% 3回目58.8%

12歳以上

1回目87.5% 2回目86.9% 3回目64.9%

高齢者(65歳以上)

1回目93.1% 2回目92.9% 3回目87.8%

OECD加盟国（38か国）における 新型コロナ死亡者数が少ない国（主要国）

	国名	累計死亡者数(人口100万人当たり)
1位	日本	245.04
2位	ニュージーランド	247.16
5位	韓国	475.35
25位	英国	2630.12
31位	米国	3037.64
38位	ハンガリー	4833.94

出典: Our World in Data (2022年6月12日時点)

令和4 (2022) 年6月17日 (金)